

閉校記念行事

シンポジウム～この地域「おおだて」を考える～

実施期日 平成27年9月8日

平成27年9月9日付 北鹿新聞掲載

大館高校（今泉悟校長）で
8日、卒業生を交えた閉校記

思い出と期待語り合う

閉校記念シンポジウム

大館高 布谷さんらOB迎え



卒業生を交えたシンポジウム（大館高）

念シンポジウム「この地域
『おおだて』を考える」が開
史人さんら3人を迎え、地元

の魅力や統合校への期待など
を語り合った。
れたことはなかった」と回
顧。

全校生徒のほか同窓会や旧
職員など関係者300人超が
出席。開会行事後、布谷さん
が演説を披露。第56次南極地
域観測隊に参加した泉博貴さ
ん（東光鉄工）は、経験を講
話した。
在校生へのエールとして、
布谷さんは「今何をすればい
いか分からなくても、ふとし
たきっかけてチャンスがあ
る。エネルギーを温存してい
ると思つてほしい。夏井さん
は「いくつになっても挑戦、
努力できる。いろんなことを
学び、挑んでいってほしい」
と呼び掛けた。

シンポジウムは2人のほか
藤里町社会福祉協議会に勤務
し2児の母である夏井沙耶佳
さん、生徒代表として全日制
前生徒会長の山本小雪さん
（3年）と定時制生徒会長の
成田京介さん（同）を交えた。
武田晋岡窓会長がコーディネ
ーターを務め、高校時代の
思い出などを交えながら意見
交換。泉さんは南極赴任時を
振り返り「大館とまったく違
い縁がない。ホームシックに
なったこともあり、故郷を忘
れた。」

大館高校24年のあゆみ」を開

